29地域に根付いた刈草ロール配布事業

受賞機関 国土交通省 近畿地方整備局 大津川上流河川事務所

キーワード 刈草処分対策、コスト縮減

全建賞審査委員会の評価ポイント

刈草の処分費縮減が課題となっている中、地域のニーズを的確に把握して刈草ロールの無料配布を行うなど、コスト縮減を図った取組み。取組みをして得られた経験をもとにロールの径を変更したり、新聞への掲載や刈草ロールを堤防天端に並べてPRをするなどの工夫がなされ、大幅なコスト縮減の効果があがっている点が評価された。

1. はじめに

木津川上流河川事務所では、堤防の異常(崩れや亀裂など)を早期に発見し、河川流域の安全や環境を守るために堤防除草を年2回実施している。通常、刈草は焼却施設等で処分を行うことが一般的であるが、其れ相当の処分費が伴うことから、除草に伴うコスト縮減対策は重要な課題となっている。

そこで、当事務所では、平成22年度から『刈草ロール配布事業』を推進していく取り組みを行った。

2. 事業の概要

『刈草ロール配布事業』は堤防除草で発生した刈草をロール化し、広く一般の方々に無料で配布するものである。地域に根付いた要因は、以下の取り組みが効果的であったと考えられる。

- ①日本農業新聞に掲載したことや利用者の口コミ。
- ②ロールの大きさを ϕ 500に小さくし、大人一人でも 持ち運びが可能な20~30kg/個程度にしたこと。
- ③ラップを巻くことによって長期保存が可能になったこと。



刈草ロールのラップ巻き状況

これらの取り組みにより、現在では年間10,000個以上の申込を頂いている。

3. 事業の成果

平成30年度は全除草面積の約50%に当たる約597,200㎡の刈草をロール化し、11,574個全てを地域に配布した。主に、家畜の飼料や家畜舎の敷料、堆肥の材料、マルチング材(雑草抑え)として様々な用途に利用されている。

また、従来の処分方法の場合では66.69円/㎡。対して刈草ロール配布の場合39.78円/㎡。よって、刈草ロール配布事業の方が26.91円/㎡安くなり、約40%のコスト縮減が実現可能と試算される。なお、平成30年度のコスト縮減額を算出したところ、合計で約1,600万円(直接工事費)のコスト縮減が図られている結果となった。

4. おわりに

当初、コスト縮減策の一環として始めた刈草ロール配布事業は、地域の皆様から大好評を得ており、今では欠かすことのできない「地域に根付いた」事業へと発展を遂げている。



刈草ロール配布状況

今後も『刈草ロール配布事業』を推進し、地域の期待にお応えしていくとともに、公共事業の経費節減に努めていく所存である。